



2014年  
9月15日  
NO.378

九州旅客鉄道労働組合  
福岡市博多区博多駅前2丁目3-23  
TEL 092-472-7950(代)  
URL http://www.jr-krwu.org  
発行人/許斐元文 編集人/木村智隆

# 全地本定期大会を終える

## 代議員の多くがJR採用者へ

### 福岡地本



福岡地方本部は、8月9日、福岡市「福岡センタービル」において第23回定期大会を開き、安全の確立をはじめ、組織の強化・拡大、将来のJR九州を見据えた中長期的な労働政策ビジョンとして新たに策定された「チャレンジ2018」の実現にむけた取り組みなど、新年度の運動方針を満場一致決定した。

冒頭、執行部を代表してあいさつに立った岩永委員長は、組織強化・拡大の取り組み、政策課題の実現にむけた取り組み、安全の確立にむけた取り組みの3点について所信を述べ、これ

らの課題に対し、日々の活動を通じて、一緒に解決し、前進していこうと呼びかけた。

### 長崎地本



大会では多くのご来賓に出席を賜り、代表して宮崎連合長崎事務局長、高木JR連合国会議員懇談会会長、山口長崎県議、岩田九州労金長崎支店長、福田交運共済九州事業本部長、西村嬉野市議より、情勢報告並びに激励と連帯のあいさつを受けた。その後、中央本部を代表して芦原副委員長より、①安全確立、②組織強化・拡大、③政策課題等についてあいさつを受けた。

長崎地方本部は、8月2日長崎市「ホテルセントヒル長崎」において、第23回定期大会を開催した。

冒頭、地方本部を代表してあいさつに立った岩口地本委員長は、①組織強化・拡大、②安全問題、③青年・女性委員会の育成と強化、④統一地本選挙に向けた取り組み等について所信を述べた。

### 大分地本



「地方本部の活性化を図り、組合員の目線に立った運動を継承できるよう強化を行う」との集約答弁がされた。

大分地方本部は、8月10日、大分市「全労済ソレイユ・アイリス」において、第25回定期大会を開催し、2014年度の活動方針を決定した。

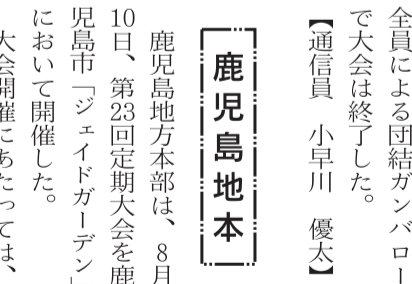
### 熊本地本



最後に大会宣言を採択し、玉井委員長の団結ガンパローで閉会した。

熊本地方本部は、8月2日、熊本市「熊本交通センターホテル」において、第23回定期大会を開催し、「飛躍信頼・創造」のスローガンのもと、2014年度の運動をスタートさせた。

### 鹿児島地本



最後に、坂本委員長の力強い掛け声のもと、出席者全員による団結ガンパローで大会は終了した。

大会は、前原副委員長の開会挨拶後、議長に、宮崎乗務分会の祁内代議員と鹿児島地区連合分会の中野代議員を選出した。



また、今年は人事大会ではなかったが、役員欠員に伴う地本執行委員の補充選挙が実施され、新役員には、大会議長を務めた「中野みき」さんを選出し、女性執行委員の継承を図った。

冒頭、江口委員長より、6月に発生した指宿枕崎線列車脱線事故をはじめとする「安全最優先の風土づくり」、継承元年と位置付けた「組織の強化・拡大」、株式市場にあたっての「労働条件の維持・向上」、JR九州の経営基盤安定にむけた「政治的課題の解決」の4点について、地本執行委員会を代表し、所信が述べられた。

その後、来賓からの祝辞を受け、経過報告・運動方針(案)などについて12名の代議員・特別代議員から発言があり、各担当部からの答弁の後、延時書記長による集約答弁が行われ、経過・運動方針等の議案が満場一致承認された。

【通信員 青木 幹雄】



# 第5回サマーフェスティバル 各地本で盛大に開催

## 《福岡地本》



大刀洗平和記念館 (大刀洗町)

福岡地方本部は、8月24日(土)・25日(日)・26日(月)、福岡県朝倉地区において、第5回サマーフェスティバルを開催した。

福岡地本では、実行委員会を立ち上げ、多くの組合員が参加し易いよう、日帰りバス旅行とし、3日間で289名の組合員・家族、共闘団体のみなさんが参加した。開催にあたり、「平和・環境・交流」をテーマに掲げ、大刀洗平和記念館では、平和の尊さを学ぶため、戦時下の太刀洗飛行場の歴史、ボランティアによる平和に関する朗読、館内展示物の見学等、平和の尊さを実感することができた。

その後、「花立山温泉」において、バイキング料理での昼食休憩でお腹を満たした後にいった、うきは市「春光園」でのフルーツ狩りでは、例年になく日照不足にもかかわらず見事に実った梨やブドウを収穫した。

## 《長崎地本》



ながさき県民の森 (長崎市)

長崎地方本部は、8月22日(金)・23日(土)、長崎市「ながさき県民の森」において、第5回サマーフェスティバルを開催した。

今回のサマーフェスティバルは、1泊2日のキャンプとして、22日・23日、23日・24日にかけて、「出会おう仲間と！ふれあおう仲間と！語り合おう仲間と！」をメインスローガンに開催した。

開村式では、岩口実行委員長らの歓迎のあいさつの後、「会場」「イベント」「食事」

初日こそ晴天に恵まれたが、2日目、3日目はあいにくの雨模様となる中、子供たちは雨にも負けず泥だらけになりながらもフルーツ狩りを楽しんでいた。

今回のサマーフェスティバルでは、117名もの家族のみなさんに参加していただき大変有意義なサマーフェスティバルとなった。

の各担当より注意事項等を行い、楽しいキャンプのスタートを切った。

1次イベントは、森林ウォーキングを実施、「自然の癒しを実感し良かった」との意見もあったが、「きつかった」との正直な意見も聞かれた。

その後の夕食では、3班に分かれバーベキューとカレーライスを作った。カレーライス作りでは、普段では想像できないぐらい手際よく上手な人、見ためだけの人など、色々な一面を垣間見ることができた。また、班毎に個性溢れるカレーライスが出来上がり、食べ比べを行うなど大いに盛り上げる夕食となった。

夕食時に行った2次イベントではビンゴゲームを開催、目の色が変わるような豪華と思われる賞品を目前に組合員・家族の笑いが絶えないイベントとなった。

閉村式では、参加者から「楽しかった・きつかった・土星が綺麗だった・仲間と触れ合えた・語り合えた」など、多くの意見をいただいた。

また、6月から準備を進



## 《大分地本》



平成森林公園キャンプ場 (大分市)

大分地方本部は、2014年8月22日(土)、23日(日)の2日間、大分市の平成森林公園キャンプ場において、第5回サマーフェスティバルを開催し、2日間合計で約130名の組合員、家族、実行委員が参加した。

サマーフェスティバルでは、バーベキューに舌鼓を打った後、「コーラ早飲み競争」、「風船割り競争」、「激辛当て競技」といった子どもから大人まで楽しめるイベントを実施、終始笑顔が絶えない楽しい時間となった。その後、豪華景品が当たるビンゴ大会でサマーフェスティバルは締めくくられ、最後まで大いに盛り上がった。

サマーフェスティバル開催途中、激しい雨に見舞われることもあったが、組合員、家族との絆がさらに強まり、夏の思い出に残る有意義なサマーフェスティバルとなった。

めてきた実行委員の多くをJR採用が担うなど、今後の組合活動を築く力になることを実感するサマーフェスティバルとなった。

## 《熊本地本》



阿蘇ファームランド (南阿蘇村)

熊本地方本部は8月23日(土)・24日(日)・25日(月)の3日間、第5回サマーフェスティバルを開催し、組合員及び家族との親睦と交流を図った。サマーフェスタには、3日間で組合員・家族など約170名が参加した。

各日とも、熊本駅を出発、宮地駅にて北部九州豪雨災害による被害状況及び復旧作業状況の写真や展示物を見学、その後、昼食会場となった阿蘇ファームランドへ移動した。

移動中のバス車内では、ビンゴゲーム、DVD鑑賞を企画、あいにくの雨により屋外での交流は難しかったが、阿蘇ファームランドでの昼食バイキングでは参加者同士の交流を深めるとともに、組合員・家族にとっても、楽しい夏休みの思い出となった。

## 《鹿児島地本》

鹿児島地方本部は、7月26日(土)・27日(日)、27日(日)・28日(月)、始良市「さえずりの森」において、第5回サマーフェスティバルを、

「出会おう仲間と ふれあおう仲間と 語り合おう仲間と」をスローガンに、子供を含む述べ69名が参加し盛大に開催した。

1部交流会ではグラウンドゴルフを開催、芝生のグラウンドに苦戦するチームもあったが、ミスショットやホールインワンなど、2部交流会を前に楽しいイベントとなった。

2部交流会は、開村式として開催、江口地本委員長のあいさつ後、激辛カレーのガマン比べ、ラムネの早飲み、スイカ割り、花火大会等盛り沢山のイベントを開催。ラムネの早飲みでは、はじめてラムネ瓶を手に取り人もおり悪戦苦闘していた。また、夕食では、鳥のさしみ、吉松名物の牛腸、始良名物のあご肉など、美味しい食材に舌鼓をうちながら、サーバーから注いだ美味しいビールを満喫した。



さえずりの森 (始良市)

その後、コテージで開催された3部交流会は、尻相撲大会、子供たちとのなぞなぞ合戦、ももいろクローバーZショー、部外者の飛び入り手品ショーと様々なイベントを開催した。

翌朝は、みんなで朝食を作り、自然の中でおいしい朝ごはんを食べ、使用した施設をくまなく掃除し、2日とも怪我なく楽しくサマーフェスティバルを終えた。

## 分会を訪ねて

# 16 大分車掌センター分会

## 組合員の声を汲み取り、組合員のために!!



- ◎ 執行委員長 川野 昭治
- ◎ 組織数 82名(組織率95%)
- ◎ 活動内容
  - 大分車掌センター分会は、大分車掌センターの単独分会で、大分を起点に北は博多、南は久留米・熊本まで乗務し、運転取扱いとお客さまへのご案内・切符の拝見等を基本に、日々「安全とサービス」を基軸に旅のお手伝いを行っています。

組織構成は、組合員82名中JR採用者が29名(35.4%)となっており、JNR採用者が過半数を超えています。JNR採用者の大量退職も目前に迫る中、分会役員の見直しも、大分車掌センター分会でも次世代を担う役員の継承が急務となっており、各種セミナー・集会等への参加を通じた組合を学ぶ場の設定や、花見などのレクリエーションを通じた組合員同士の親と結束を深める運動を積極的に取り組んでいます。

また、乗務員職場であるため、動員や分会行事に全員がなかなか揃わないなどの苦労もある中、執行委員会を定例開催(月1回)し、職場における諸課題解決に向け、組合活動の原点である「組合員の声を汲み取り、組合員のために!!」をモットーに分会活動のさらなる活性化を図るとともに、若手役員育成の強化を目指して活動を展開しています。